

萩原珈琲ってこんな会社 萩原珈琲ジャーナル

2種の廃棄焙煎豆の活用

珈琲は生ものという扱い。お客様に最高の状態でコーヒーを提供していただくために、萩原珈琲では焙煎後72時間以内の出荷ルールを設けています。多くの豆が24時間前後で出荷されますが、一部の商品では72時間を越えてしまうものもあります。現在、弊社ではそれらの焙煎豆を廃棄しないために、二次活用を行っています。

焙煎豆の二次活用

新しいコーヒーの発見を楽しもう！レジ袋も紙袋もいらない。そんなお客様に、豆ガチャ特典を提供しています。豆ガチャとは、72時間を過ぎた商品として出荷しない焙煎豆を、30gずつに小分けにしてお客様にガチャガチャ形式でおひとつ引いていただける制度。飲んだことのない、初めての珈琲が当たるかも？さあ、今日のあなたのガチャ豆は何！？

萩原珈琲では脱プラを目指し、レジ袋の有料化ではなく、「レジ袋の廃止」を選択しました。代わりに簡易な紙袋をご用意し、荷物（珈琲）をまとめてお持ち帰り頂けるよう、工夫しています。



製造過程で出る廃棄豆の活用

萩原珈琲では、珈琲豆を良い状態で出荷するために「逆さ仕上げ」を実施しています。逆さ仕上げとは、焙煎後に電子選別機で焙煎豆の色を識別し、「糖度の低い豆（カラメル化が進まない豆）」を除去します。これらの豆は様々な形で二次活用し、食品ロスを資源に切り替える取り組みを行っています。



コーヒー絵具

単純な一方通行の活用ではなく、廃棄コーヒーを使用して新たな活動を生み、そこに関わる人たちが増えることを願っています。コーヒー絵具では大学生の研究材料として廃棄豆を提供し、そのアートを神戸市役所店で展示していただいたり、子ども向けワークショップへの活用をしていただきました。



コーヒー染め

染物といえばカラフルな色合いの化学染料や、植物や野菜を使った草木染が有名ですが、実はコーヒーも染料として布を染めることが可能なんです。廃棄豆を使用してコーヒー染めのワークショップを行いました。廃棄豆と一緒に楽しく遊びましょう！

